



ふじさんネットワーク

FUJISAN
NETWORK

URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

VOL.44



富士市より

富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

目次

Contents

1. 世界文化遺産学習会
2. 「富士山の日」協賛 自然観察会
3. 富士山エコレンジャー
4. 寄付金の目録贈呈
5. 富士山からの挑戦状
6. 世界遺産 富士山
7. 会員活動紹介

1 世界文化遺産学習会

今年度の新規事業として、世界文化遺産に登録された富士山の今後の適切な保存管理に不可欠な環境保全活動の意義について考える学習会を実施したので、その様子を紹介します。

日 時：平成25年12月7日(土)午前9時15分から午後0時10分まで

場 所：三保松原(静岡市清水区三保)

参加者：49名

内 容：ふじさんネットワークの会員でもある、NPO法人三保の松原・羽衣村にご協力いただき、前半は2班に分かれて、三保松原を実際に歩きながら、松林における草取りや松葉の除去作業、景観上問題となっている消波ブロックなどについて説明を受けました。



皆さん、熱心にお話を聞いています。



後方に消波ブロックが見えます。

後半は、羽衣ホテルに移動して、静岡県富士山世界遺産課の小坂寿男課長より「富士山世界遺産登録と今後の課題」と題して、富士山が世界文化遺産として登録された経緯、世界遺産委員会からの勧告・要請内容などについてお話ししていただきました。

NPO法人三保の松原・羽衣村の遠藤まゆみ事務局長からは、三保松原の歴史や芸術との関わり、松枯れが進んでいる現状に対するNPOにおける取組などについてお話ししていただきました。

参加者からは、「世界遺産について理解を深めることができた」「三保松原に対する熱い思いが伝わってきた」といった感想が寄せられました。



静岡県富士山世界遺産課 小坂課長



NPO法人三保の松原・羽衣村 遠藤事務局長

2 「富士山の日」協賛 自然観察会

静岡県では、すべての県民が富士山について学び、考え、想いを寄せ、富士山憲章の理念に基づき、後世に引き継ぐことを期する日として、2月23日が「富士山の日」として定められています。

ふじさんネットワークでも、「富士山の日」の趣旨に賛同し、「富士山の日協賛事業」として、自然観察会を実施したので、その様子を紹介します。

日 時：平成26年2月22日(土)午後0時10分から3時まで

場 所：白糸ノ滝・湧玉池(富士宮市内)

参加者：23名

案 内：土研究事務所 土 隆一静岡大学名誉教授

内 容：ふじさんネットワークの会長でもある土隆一静岡大学名誉教授の案内により、白糸ノ滝・湧玉池において、富士山の湧水のメカニズムについて説明を受けました。

参加者からは、「白糸ノ滝のしくみなどについて詳しく伺うことができて良かった」「地元にいながらけっこう知らないこともあり、改めて勉強になりました」といった感想が寄せられました。



白糸ノ滝の前で説明に耳を傾ける参加者の皆さん



土 静岡大学名誉教授（湧玉池の前）

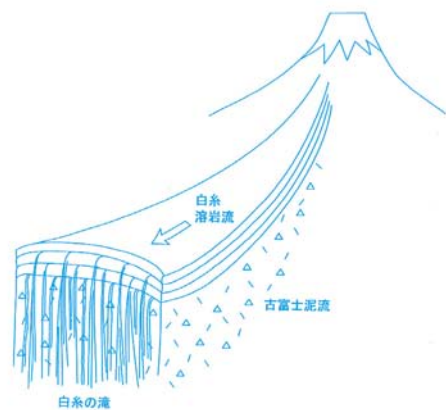


図1 白糸の滝のスケッチマップ

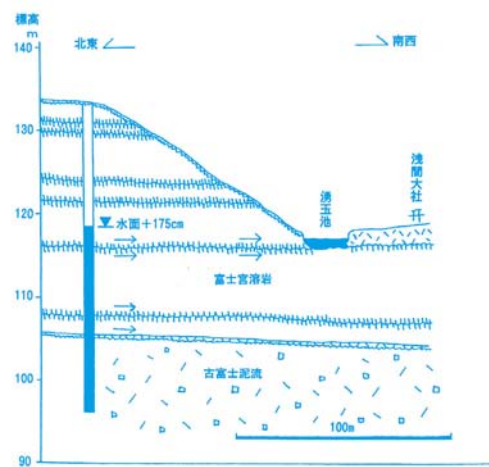


図2 湧玉池と背後の富士宮溶岩・“古富士泥流層”の断面図

土 静岡大学名誉教授が、
当日参加者に配布した資料より

3 富士山エコレンジャー

(1)トレイルラン植生保全環境調査

富士山麓で2012年より行われているウルトラトレイル・マウントフジ(以下「UTMF」という)。参加者約2,000人規模で富士山周辺の歩道等を利用し富士山を一周するランニングレースです。このレースによる富士山の自然環境への影響を懸念している富士山エコレンジャーの有志により、今年度本格的な影響調査が実施されました。

今回調査を行ったのは2013UTMFのコースの一部となった須山口登山道標高1,090m地点～水ヶ塚駐車場～須山口下山歩道1.5合目～御殿場口5合目にかけてのルートです。このルートは、林野庁が貴重な動植物の保護等を目的として、国有林内に定める「保護林」や「緑の回廊」、さらには昨年6月に登録された世界文化遺産の一部も含まれています。ルート上には貴重な植物が多く生息し、自然環境保全上、重要な場所であるにもかかわらず、レースでは昼夜問わず連続約26時間を越えて利用されました。

調査は、延べ52人のエコレンジャーが参加し、約2,000人の踏圧が歩道周辺にどのような影響を与えているか、レース開催前後において登山道の荒廃、植生損傷、ゴミの放置などの状況について確認しました。



UTMF実施前



実施後(登山道の複線化が見られる)

調査の結果、登山ルートからの逸脱や登山道の崩壊・浸食等の影響が確認され、富士山の自然環境に重大な負荷を与えている事が判明しました。

エコレンジャー連絡会では、大会主催者や行政機関、マスコミ、地元自治会等に調査報告書を配布し問題を提起しています。

近年、トレイルランニングについては人気が高まる一方、安全性や自然環境への影響が問題視されています。ふじさんネットワークの会員の皆様にも、この実態にぜひ関心を持っていただき、富士山の自然環境保全に御協力をお願いします。また、御希望がありましたら本調査の報告書を無料配布しますので、事務局まで御連絡ください。

(2) 富士山エコレンジャー勉強会

平成26年1月25日(土)富士宮市西公民館において、富士山エコレンジャー勉強会が開催されました。

富士山における静岡県側の昨年の遭難件数は、昨年度の56件に対し、本年度は98件と急増していることから、富士山エコレンジャー連絡会においても、遭難者への対応の知識を習得するため、安全対策をテーマに実施しました。

はじめに静岡県警察山岳遭難救助隊の鈴木久二康副隊長による「富士山における遭難の傾向と対策」と題した講義が行われ、午後からは富士宮市中央消防署員の指導により「救命救急講習(実技講習)」が行われました。

富士山において、ヘリコプターが十分に活動できる範囲は標高2500m程度までとされており、救助の主体は人力になるとの事で大変苦労されていることが伺えました。また、昨夏は富士山が世界文化遺産に登録されたこともあり、遭難者のほとんどが“登山初心者”であったとのことでした。

遭難者を発見した場合は、まず周囲の安全確保とスムーズな連絡、また、救助が来るまで遭難者から離れず声をかける事が重要とのことでした。



山岳遭難救助隊の鈴木副隊長による講義



消防署員指導による救命救急講習

4 寄付金の目録贈呈

平成25年12月3日(火)、静岡県庁内におきまして、マックスバリュ東海株式会社様より、寄付金(75万7635円)の目録が贈呈されました。

この寄付金は、マックスバリュ東海株式会社様の各店舗における、お客様からの募金によるもので、平成24年12月10日から平成25年3月3日までの間に「富士山の日」に合わせて実施した募金と、平成25年6月10日から30日までの間に富士山の世界遺産登録に合わせて実施した募金を合わせたものです。

ふじさんネットワークからは、土会長が、御厚意に対する感謝状を授与しました。

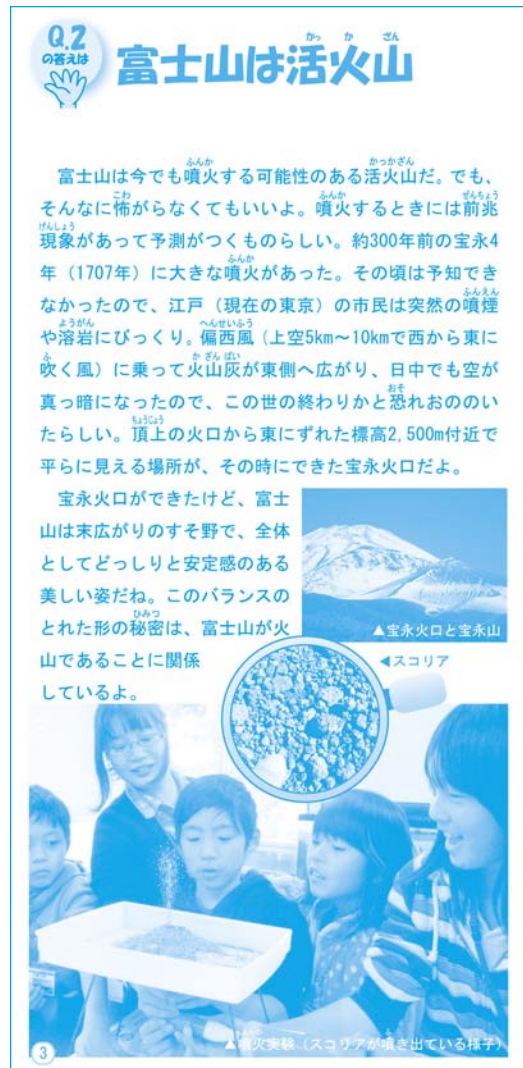


左：マックスバリュ東海株式会社
木内 康彦 総務部長
右：ふじさんネットワーク
土 隆一 会長

5 富士山からの挑戦状

「富士山の日」を契機に、子どもたちの富士山への親しみや興味を喚起し、富士山を大切にすることを育てることを目的とした学習リーフレット「富士山からの挑戦状」を、今年度も作成しました。

昨年度に比べて、ページ数を増やしたことで、詳しい解説付きのクイズも7問から9問に増えました。また、イラストや写真の枚数も増やしましたので、より、視覚に訴える、わかりやすいものになったと思います。



県内の国立、公立、私立の小学校及び特別支援学校小学部の全ての六年生に配布しましたが、予備がありますので、御希望の方は、ふじさんネットワーク事務局までご連絡ください。大人の方にも「わかりやすい」と大好評ですよ！

詳しくはHPをご覧ください。

【電話】 054-221-2963 【Eメール】 3776fuji@pref.shizuoka.jp
 【HP】 <http://www.fujisan-net.gr.jp/topics/201402leaf.htm>

6 世界遺産 富士山

静岡県からのお知らせ

富士川楽座「世界遺産富士山」情報発信ステーション

静岡県では、富士山の文化的価値をわかりやすく伝えるため、富士川楽座4階を「世界遺産富士山」情報発信ステーションとして整備し、プラネタリウムにおいて、映像番組「世界遺産富士山」を上映しています。

上映する映像は、プラネタリウムを活用した迫力の大画面で、富士山の四季折々の美しさや雄大さと、世界遺産としての価値を紹介する内容となっています。

富士山を望むことができる日は、1年のうち4割ほどですが、富士川楽座では、富士山が見えない日であっても、映像により富士山の美しさを堪能することができます。

現在、平日は10時15分、14時の2回(火曜日を除く)、土日祝日は、10時15分、14時、16時30分の3回、各回約20分上映しています。

入場は無料ですので、皆様是非お越し下さい。



第3回富士山世界文化遺産協議会開催

本年1月22日に富士宮市において、「第3回富士山世界文化遺産協議会」が開催され、富士山利用者負担制度等について協議が行われました。この協議会は、資産の保存管理及び整備活用に関する事項の協議等を目的に、静岡・山梨両県知事及び教育長、関係市町村長及び教育長、国(環境省、林野庁、国土交通省)の出先機関の長を構成員として設置されています。

富士山利用者負担制度については、名称を「富士山保全協力金」とし、富士山の環境保全と登山者の安全対策を目的に、法的に強制力はないが、できる限り対象者全員から協力を得られることを目指す協力金(寄付金)として平成26年の夏山シーズンから開始することが決定しました。

金額は基本1,000円とし、対象者は五合目から山頂を目指す登山者で、実施期間は登山道開通期間、一定の時間帯に現地に係員を配置するほか、インターネットやコンビニ払い等の方法も併用して、24時間実施してまいります。

いただいた協力金については、静岡・山梨各県で基金を設置して管理し、富士山五合目以上の新規事業及び事業の拡充の財源に充当します。具体的な事業については、事業選定委員会(仮称)を設置し、毎年度審議して決定してまいります。

7 会員活動紹介

NPO法人伊豆開花クラブ

事務局住所 伊豆の国市韮山金谷69-1

TEL 090-1237-0011

私たちは、富士山の美しさを活かしたまちづくりに取り組んでいます。

●「富士山に向かって何かひと言」

2月23日は富士山の日です。毎年、お祝いのメッセージ募集を行っており、作品はすべて電子書籍「パプー」にアップロードしています。昨年の2月23日には、ハワイにある新聞紙「日刊サン」において富士山の特集を1ページ組んでいただき、海外PRの一助となりました。

今年は、富士山の型をしたサインボードを用意して、地元の名士、お世話になった方々に揮毫をお願いしました。



日刊サン

●「富士花山」

公益社団法人静岡県グリーンバンク様のご支援を頂き、2014年春に伊豆の国市葛城山ロープウェイの真下に幅22m×奥行き50m(1000㎡、1反)の遊休農地を借用して富士山の型をした花壇を設置いたします。



花壇準備中の農地

●「富士山の日をお祝いする旗」

静岡県の家々に富士山の日をお祝いする旗を掲げ、家でも富士山について考えてらおうという活動をしています。



製作は、大漁旗の製作会社に依頼しました

ぜひ、皆さんも、世界遺産“富士山”への思いをかたちに見せてみませんか



2014年3月 vol.44

編集・発行／**ふじさんネットワーク事務局**

静岡県暮らし・環境部環境局自然保護課内

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 電話054-221-2963 ファックス054-221-3278

E-mail 3776fuji@pref.shizuoka.jp URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 土隆一 (静岡大学名誉教授)
- 会員数 491団体・個人 (H26.2.28現在)